指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和3年度分)

施設名 松江市宍道ふるさと森林公園、来待ストーン
 指定管理者 一般財団法人宍道湖西岸森と自然財団
 担当課 観光施設課
 指定期間 令和3年4月1日～令和7年3月31日

1. 総合評価

市	S	【優れていると評価した点】 ・両施設とも、指定管理業務を適切に実施するとともに、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら利用者が安心して施設を利用できるように努めたことは評価できる。 (松江市宍道ふるさと森林公園) ・令和3年4月16日にリニューアルオープンし、利用者を着実に増やしてきたところである。新型コロナウイルスの感染拡大に伴うまん延防止措置の期間に休園したものの、年度収支が黒字となったことは評価できる。 (来待ストーン) ・企画展やイベントなどを企画し、利用者の確保に努めたことや職員が研修や講習を受けスキルアップに努めた点は評価できる。 【評価できない、または改善すべき点】 (松江市宍道ふるさと森林公園) ・引き続き、新規利用者の獲得と同時にリピーターの獲得に努める必要がある。土曜日、GWや夏休みについては、予約が好調であるが平日の利用者の集客が課題である。地元企業、関係諸団体等と連携しながら宍道町及び松江市内に観光客を呼び込めるよう様々な事業展開を期待する。 ・月次報告書の提出が遅れることがあった。 (来待ストーン) ・新型コロナウイルス感染防止対策のため、利用者の人数制限をしており、団体利用の確保が課題となる。 ・定期的にミニ展示などを行い、またそれらを効果的にPRし、さらなる入館者増を目指す必要がある。

2. 施設利用の増減について

総括	・利用者数は、森林公園が46,918人(対前年比137.9%)、来待ストーンが15,384人(対前年比115.4%)と両施設とも前年度を上回った。森林公園は新型コロナウイルスの影響があったもののリニューアル効果により増となった。

(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く)

項目\年度		(千円)			
		H30	R1	R2	R3
施設の収支	収入	65,014	71,967	99,499	98,004
	うち指定管理料	16,827	21,831	78,803	21,884
	うち利用料	48,187	50,093	19,035	72,156
	支出	62,472	72,471	103,151	91,922
	差引	2,542	△ 504	△ 3,652	6,082

上記以外の市の収入、支出

市の収支	収入(使用料)	285	219	196	297
	支出	2,517	2,628	35,641	9,023
	うち市の修繕費	433	738	2,045	4,125

(2) 利用者の推移

	H30	R1	R2	R3
(人)	251,003	195,147	184,637	62,302

※R3年度より実延べ利用者数に変更

(3) 利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
(森林公園) 642件	(森林公園) ①満足している (90.6%) ②どちらともいえない (8%) ③満足していない (1.3%)	(森林公園) ・部屋の柵や、ジュースの件などすぐに対応していただいた。 ・とても丁寧に対応していただき気持ちよく利用できた。 ・とても楽しく過ごすことができた。とてもきれいで景色もよかった。次はもっとゆっくり連泊したい。 ・きれいなテラスで気持ちよく食事ができた。 ・キャンプサイトがもう少し広ければ良い。 ・トイレにタオル掛けがほしい。
(来待ストーン) 1,152件	(来待ストーン) ①満足している (84.5%) ②どちらともいえない (11.9%) ③満足していない (3.5%)	(来待ストーン) ・展示の方法に工夫が凝らしてあって楽しめた。 ・字だけでなく画像もあって分かりやすかった。 ・スノードーム作り体験は、分かりやすい説明があって勉強になった。 ・もう少し明るいほうが、小さな文字が読みやすい。 ・子ども連れが来やすくしてほしい。(おむつ交換台や授乳室の設置)

3. 自主事業

総括	- 積極的に自主事業を展開により、利用者サービス向上及び施設の魅力向上に努めている。 - コロナ禍であったものの両施設とも黒字を確保しており、安定的な経営、施設運営につながっている。
実施状況	(森林公園) - 森林環境保全思想の普及事業及び各種調査研究事業、喫茶事業、ブライダル事業、各種体験イベント(自然観察会、星空観察会)* 自主事業の収益の一部を島根県緑化推進委員会を通じて緑の募金に寄付。 (来待ストーン) - 来待石及び来待石産業の普及啓発事業(国引きジオパーク推進、ミニ器展の開催など)、島根大学の学芸員実習、公民館での公演、作り手向けワークショップなど来待ストーンの特長、専門性を活用した事業

4. 評価項目及びその評価

評価項目	市評価
利用者の意見を取り入れ管理運営を改善していたか	B
利用促進のための計画が練られていたか →利用者数の増減により評価	A
利用促進のための計画が練られていたか →自主事業の実施状況	A
広報活動	B
当初提出した収支計画に基づき、効率的な管理運営が図られたか	A
業務委託した場合、その委託の範囲は適切か	A
事業計画を実行するために適切な組織・人員配置が練られていたか	A
管理責任者は適切な人選がなされていたか、計画実行のための有資格者(経験者)が確保されていたか	A
利用者の安全対策(平常時・緊急時)についての研修等が十分に確保されていたか	A
個人情報保護についての研修等が十分に確保されていたか	A
災害等に備えた計画(被害の拡大防止措置など)が検討され、利用者の安全が十分検討されていたか	A
緊急時の対応策が十分考えられており、緊急時の責任者や連絡体制が明確にされていたか	A
清掃業務	A
機械設備等の保守点検	A
草刈・植栽管理、外構等施設周辺の管理	A
松江市への報告	C
労働安全衛生	A
施設の巡視	A
職員のマナー(服装・電話・窓口)	A
備品の管理	B